The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	法学部国際公共政策学科「情報活用基礎」を振り返って
Author(s)	高嶋, 和毅
Citation	サイバーメディア・フォーラム. 2011, 11, p. 32-32
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/70299
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

法学部国際公共政策学科「情報活用基礎」を振り返って

高嶋 和毅（大阪大学 大学院国際公共政策研究科 国際公益システム講座）

1）講義概要

法学部では、新入生を対象のコンピュータリテラシー向上を目的とした情報活用基礎を開講している。法学科と国際公共政策学科で同一時間に別の教室で講義を行い、私は後者の講義を担当した。講義内容は、ワード、エクセル、パワーポイントの実技演習と、情報倫理とモラルについてである。それぞれ課題があり、授業毎に課題の進捗、または完成版をWebCT上にアップロードしてもらい、出席とレポート提出管理を行った。

2）講義内容と感想

受講するのは文系の学生であり、コンピュータにあまり慣れていないことも多い。また、高校での情報関連の授業は、高校によって大きく進度が違うため、初回授業時に簡単なアンケート（挙手）を行って、授業難易度を確認した。今年度も苦手意識がある学生が多かったため、ある程度スキルを持っている学生にとっては物足りないかもしれないが、比較的易しい講義内容とした。実技演習については、最初に課題を与え、操作が分かる学生は各自進んでもらい、操作が分からない学生は、教員の説明を共用ディスプレイで確認しながら操作するように指示した。全体的に質問が多く出たが、TAを二名割り当てていただいたので、質問対応に多くの時間を割くことなく、時間を有効活用することができた。

ワードに関しては、ほぼすべての学生が経験しており、比較的スムーズに演習が進んだ。講義内容は、今後のレポート作成や、論文作成にあたっての必要な体裁の整え方などを中心に扱ったが、ある程度スキルを持った学生向けに、やや高度な内容として相互参照なども扱った。

続いて、情報倫理とモラルに関する講義を行った。内容は、インタネーット関連の基本情報から始まり、ウィルスやスパイウェア、情報漏えいの怖さ、その対策などを講義した。課題では、それらをまとめた簡単なマニュアルを作成し、最後に私見を述べるように指示した。高校での授業で、あまり情報倫理が充実していないのか、ネット社会での加害者になる可能性を始めて知った学生が多かったことが印象的であった。レポートはワードで学習した論文の書き方に従って作成し、法学部という立場からの意見を求めた。多くの学生が、法や教育などの視点からの興味深い考察をしており、期待以上のものも多く、講義中一番手応えがあったレポートであった。

エクセルに関しては、できる学生とできない学生の差が大きかったため、かなりの時間をとって、平易な内容からやや高度な内容までを扱った。具体的には、成績表のグラフ化とワードへの貼りつけから始まり、相互参照と絶対参照、ピボットテーブルや統計ツールの簡単な使い方、などである。

最後のパワーポイントでの演習は、演習を見る限り、図やアニメーションを付けることを楽しんでいる学生が多かった。作り方のガイドラインは細かく指示し、図の作成方法や適度なアニメーション、プレゼンで必要な機能はすべて扱った。70人ほどの授業であったため実際にプレゼンしてもらうことは時間の都合上諦めたが、せっかく作ったからプレゼンしたかったという学生もかなりおり、スクリーンとプロジェクタの設備もあるため、来年度も機会があれば試してみたい。

3) 講義と環境について

講義内容は初歩的なものであったが、学生の反応やレポートの内容から、大学入学して間もない時期に行う講義として十分に意義があるものだと感じた。学生によるスキルの差はかなり強くあり、やや不安に感じる場合もあったが、講義中に説明したデジタルデバイドという言葉を多くの学生がレポート内で考察しており、積極的にコンピュータに慣れようという意気込みも同時に感じることができた。

設備の面では、各端末の間に設置されている共用ディスプレイが、細かな操作を教えるときに効果的であったと思う。また、WebCT は、出席管理や、課題の提出、資料の置き場所として用い、非常に便利であった。学生は、ファイルをアップするという処理に馴染みがないために講義の前半ではトラブルもあったが、3 回目あたりから慣れていたようである。その他、講義を進める上で支障となるトラブルはなく、情報活用基礎の講義する場所としては豊富な情報技術の機能を学生に見せることができる恵まれたシステムだったと思う。